

要素訓練結果報告の概要

1. 訓練の目的

本訓練は、予め定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証，習熟を行うとともに，体制，資機材の取扱いおよびその実効性について改善を図るものである。

2. 実施日および対象施設

(1) 実施日

平成 25 年 4 月 2 日（火）～平成 25 年 7 月 31 日（水）

（訓練ごとの実施日については，「添付資料」のとおり。）

(2) 対象施設

東通原子力発電所

3. 実施体制，評価体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け，実施担当者が訓練を行う。

詳細は，「添付資料」のとおり。

(2) 評価体制

定められた手順どおりに訓練が実施されたかを実施責任者が評価する。

(3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

4. 原子力災害想定の概要

(1) 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失，原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失の状態を想定。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の内容

(1) 電源機能等喪失時対応訓練

7. 訓練結果の概要（添付資料参照）

（1）電源機能等喪失時対応訓練

- a. 全交流電源喪失，原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失を踏まえた緊急安全対策の各対策について個別に緊急時対策要員による実動訓練を実施。
- b. 訓練にあたり，本設機器へ直接影響が生じる手順は模擬とし，現場での動作確認または机上での手順確認を実施。

8. 訓練の評価

各要素訓練について定められた手順どおりに訓練が実施されていることを確認できた。

訓練毎の評価結果は，「添付資料」のとおり。

9. 今後に向けた改善点

各要素訓練における当該期間中の改善点および今後に向けた改善点は，「添付資料」のとおり。

以 上

（添付資料）要素訓練の概要

要素訓練の概要

1. 電源機能等喪失時対応訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で計70回実施），参加人数：延べ555名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急時の電源確保に係る訓練 電源車および大容量電源装置等による 電源確保の手順の実動訓練や机上訓練 等を実施	①電気保修課長または発電管理課長 ②電気保修課員，技術課員，放射線 管理課員，品質保証室員，発電管 理課員または協力会社作業員	良	電源車の接続場所近傍に雨水路が 有り，墜落の危険性があったため， 墜落防止柵を設置	—
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係 る訓練 消防車による原子炉への代替注水等の 実動訓練やライン構成等の一連の動作 確認を現場にて実施	①電気保修課長，機械保修課長 または発電管理課長 ②電気保修課員，機械保修課員， 発電管理課員，土木建築課員 または協力会社作業員	良	—	ホース敷設作業時における積雪等 の路面状況悪化時対策やホース敷 設作業の省力化を検討
緊急時の使用済燃料プールの冷却確保 に係る訓練 消防車による使用済燃料プールへの注 水等の実動訓練を実施	①機械保修課長 ②機械保修課員 または協力会社作業員	良	—	—
シビアアクシデント対策に係る訓練 原子炉建屋のベント開放操作に係る動 作確認やホイールロードによる模擬が れき等を用いた実動訓練を実施	①土木建築課長 または電気保修課長 ②土木建築課員，電気保修課員， または協力会社作業員	良	携行型通話装置の接続手順が効率 的でないことが確認されたため， 携行型通話装置に接続の順番を表 示	—